

つみ木の船プロジェクト

市立岡部保育所 4歳児 青組

保育室に置いてあった つみ木の本の 見本に「豪華客船」があり、
「作ってみたい!!」と声が上がリ、朝の会で共有しました。



これをつくりたいです。

すると 何かが興味を
もちました。

これはないけど
どうしまあか?
たごご



いいのあそび
こつち



その週は お部屋ご お昼寝としていたので 来週からつくり始めることになりました。



好きな遊びの時間にも
話し、イメージをふくらませます。



船の絵を描いて
みたり。



そして試作してみよことに。

「あれ? カップが足りない。」一言試作をして、カップの数が足りない事に気がつきました。

青組のカップは箱一杯に入っていました。全部つかっても、ほんの少しの高さの船しか
出さず。あれ? 箱のたごごの量 = 船の外枠ちよつと?? と 数量へ興味

をもつ姿もありました。

カップを (他クラスへ) 借りた事とまよりました。 また問題か!

何を言ってるの?



借りる、...

何を言ったら
いいん?

気持ち「借りる気満々」
でしたが、結局「借りられず」
朝の会で共有する事に。

これ作りたいという



かしてという

本をみせる

かしてという

みんなでお知らせを出し合い、①本をみせるから

②これをつくりたいけど「カップが足りません」③かしてくだい

って、いおう! という事により、「無事借りる事が」できました。

借り終わると「緊張したー」「ドキドキしたー」と帰ってきて

みんなでお知らせ「緊張」「ドキドキ」の絵カードで共有しました。



かしてよー!

いざ！作ってみよう！！ 一月曜日 子どもたちは自ら作り始めました。



／ボクは海の生き物つくる



／みて、海みたい

じゃーん
ハッピーター
(らQ)
つくりましたー



“船”だけでなく、海や海の生き物、船内のもの... それぞれが思うものをつくり、ていました。しかし... 船は何度も壊れてしまい、ながながと大きくなりません。

“どうしようー”と問題が出てくる度、子どもや大人から朝の会で共有し、考えを出し合いました。



...船を完成させるために...

①まず船内をつくることにしました。船内は見本通りではなく自分たちのイメージをつくることにしました。

②そして帰りの会でも共有



／今ポールつくり中



これはレゴです

イメージの共有は難しく、
「これは今00つくり中ね！」
「しっ子！でもこれいりせろ！」と
思いがぶつかり合う場面も
ありました。

②次に船の外枠をつくることにしました。そしてついに完成の日がやってきました。



／そーと そーと...



“船をつくる” 同じ目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したり...

思いがぶつかり合いながら、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりしながらよりよいものにしようと充実感をもってやり遂げていました。

仲間同性が育まれるために、友だちと一緒に活動する中で、それぞれの持ち味が発揮され、互いのよさを認め合う関係ができてくるのが大切である。その一つの経験になったかな...!? と思います。

完成したその後... 他クラスにもみてもらおう!となり... 全クラスにみてもらいました。

線よりながい入らん
こいてか



案内。

赤い紙はふんでよ

感想と手紙を頂きました。

そして、みんなで船とおわかれ...

